

豊監報第6-2号

令和6年2月28日

豊岡市監査委員	羽	尻	知	充
豊岡市監査委員	中	嶋	英	樹
豊岡市監査委員	西	田		真

財政援助団体等に対する監査（出資団体監査）結果報告について  
（株式会社シルク温泉やまびこ）

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等に対する監査（出資団体監査）を実施したので、同条第9項の規定により、その監査の結果に関する報告を別紙のとおり提出します。



財政援助団体等監査結果報告書  
(出資団体監査)

**第1 監査の種類**

地方自治法第199条第7項の規定による監査（出資団体監査）

**第2 監査の対象**

1 監査の対象

株式会社シルク温泉やまびこ

(当該団体の事業に係る但東振興局地域振興課の事務を含む。)

2 選定理由

以下の事由により、当年度の監査対象とした。

- (1) 前回の監査は、平成30年1月に実施しており、一定の期間を経ている。
- (2) 事業が出資の目的に沿って良好に運営されているか確認する。
- (3) 指定管理者として、豊岡市立但東シルク温泉やまびこ、豊岡市立但東スポーツ公園及び豊岡市立但東中央体育館の管理を受託しているため、その経理状況等を確認する。
- (4) 所管課として経営に対する指導及び経営状況の確認を行っているかなどを確認する。

**第3 監査の目的と範囲**

出資している団体の当該財政的援助等に係る出納その他の事務の執行が当該財政的援助等の目的に沿って行われているか監査すること、当該事務が関係法令及び規程等に準拠し適正で効率的かつ効果的に行われているかを、関係者によるヒアリングや証ひょう書類等を突合するなどの監査手続を通じて試査する。

特に今回の監査は、株式会社シルク温泉やまびこ（以下「やまびこ」という。）における出納事務手続、その他関係事務について、適時適切に行われているかという観点から、第17期から第19期までの3年間（令和2年4月1日～令和5年3月31日）の決算及び第20期（令和5年4月1日～令和5年11月30日）における現状を監査の対象範囲として実施した。

また、やまびこに係る但東振興局地域振興課の事務が、関係法令等に則り適切に処理されているか検査した。

**第4 監査の着眼点**

監査の実施にあたり、監査の着眼点を次のとおり設定した。

1 出資団体関係

- (1) 定款及び規程等に基づいた事務が執行されているか。
- (2) 設立目的に沿った事業運営が行われているか。
- (3) 決算諸表等は、法令等に準拠して作成されているか。
- (4) 事業成績、財政状況は適正に決算諸表に表示されているか。
- (5) 経営成績及び財政状況は良好か。
- (6) 出納関係帳票等の整備、記帳は適正になされているか。また、証拠書類の整備、保存は適切か。
- (7) 会計経理及び財産管理は適切か。活用されていない財産等はないか。

- (8) 資金運用は適切か。また、経費節減は図られているか。
- (9) 現金や預金通帳、印鑑の管理体制は適切か。
- (10) 指定管理に係る事務が、基本協定及び年度協定等に基づき適切に事務処理されているか。また、利用料金について、適切に処理されているか。
- (11) 地元地域の方々との連携・協力の体制はどうか。

## 2 所管部局関係

- (1) 経営成績及び財政状況を十分把握し、適切な指導監督を行っているか。
- (2) 出資者としての権利行使は適切に行われているか。
- (3) 出資団体への委託業務等が適切に処理されているか。
- (4) 指定管理に係る事務が、「豊岡市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例」や「指定管理者制度に関する運用指針」等に基づき適切に事務処理されているか。
- (5) 指定管理者からの報告の点検及び指導監督は適切になされているか。
- (6) 出資団体（指定管理者）との連絡・調整等が十分行われているか。

## 第5 監査の主な実施内容

### 1 事前監査（予備調査）の実施

やまびこ及び但東振興局地域振興課を対象に、監査委員事務局職員による事前監査（予備調査）を実施した。事業が出資の目的に沿って良好に運営されているか、出納その他の事務が関係法令や規程などに従って適正に処理されているかなどを主眼に、会計諸帳簿その他関係書類の一部を抽出して調査するとともに、関係職員に対する質問等の方法により実施した。

事前監査においては、主な着眼点毎に、内部統制の整備状況及び運用状況について、事前監査点検事項を設定する方法により監査を実施した。

- (1) 実施日 令和6年1月26日

### 2 監査委員監査（本監査）の実施

- (1) 実施日 令和6年2月15日
- (2) 監査委員名 羽尻 知充委員、中嶋 英樹委員、西田 真委員
- (3) 基準等 豊岡市監査委員監査基準及び監査等の実務ガイドライン（全国都市監査委員会編集）

## 第6 監査の実施期間

- 1 実施場所 但東シルク温泉やまびこ会議室及び現地
- 2 監査の期間 令和5年12月1日から令和6年2月27日

## 第7 監査の結果

今回の監査は、豊岡市の出資団体であるやまびこについて、第17期から第19期までの3年間の経営状況等、第20期における現状に係る事務について聴取し、関係諸帳簿の検査を実施した結果、やまびこは、出資目的に沿った事業を展開している中で経営改善計画にも着実に取り組まれているとともに、指定管理施設に係る事務もおおむね適正に執行されていると認められた。

なお、今回の監査における要望事項等は、「5 監査の総括及び所見」に述べているとおりであるので、これらの要望事項等に関しては検討を求める。

また、軽易な注意事項等についてはその都度口頭で改善指導したので、記述を省略した。以下、監査結果は次のとおりである。文中及び各表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

## 1 団体の概要

### (1) 概要 (令和5年6月5日(第19期定時株主総会)現在)

団体の名称	株式会社 シルク温泉やまびこ
設立年月日	平成17年1月14日
資本金	50,000千円
株式数	1,000株 1株につき50千円
株主数	50名(法人等6件、個人44件)
所在地	豊岡市但東町正法寺165番地
事業目的	(1) 宿泊、休憩施設の経営に関する事業 (2) 温泉入浴施設の経営に関する事業 (3) 公園、スポーツ施設、加工施設の管理運営に関する事業 (4) 農産物、林産物、水産物、畜産物及び民芸品等の開発・販売に関する事業 (5) 食堂、喫茶及び売店等の経営に関する事業 (6) 飲食物、日用品等の販売に関する事業 (7) 観光案内に関する事業 (8) 地域交流を活かした交流事業に関する事業 (9) 公共施設の維持管理に関する事業 (10) 自転車のレンタルに関する事業 (11) 前各号に附帯又は関連する一切の事業

### (2) 豊岡市との関係

#### ア 出資

豊岡市(以下「本市」という。)は、25,500千円(持株比率51.00%)を出資している。

#### イ 役員

本市から但東振興局長が取締役、観光文化部長が監査役にそれぞれ就任している。

### (3) 組織 (令和5年11月30日現在)

代表取締役 岸本 直幸 取締役5名、監査役2名

支配人 持田 淳

副支配人 羽尻 智子

<社員数>

(単位：人)

	宿泊課	管理課	合計
課長	1	(副支配人兼務)	1
統括マネージャー	1		1
マネージャー	2	1	3
アシスタントマネージャー	3		3
社員	6		6
パート	5	12	17
契約社員	1		1
合計	18	14	32

※令和5年11月30日現在

※統括マネージャーは管理課の合計人数に計上している。

(4) 指定管理の概要

受託施設の概要は以下のとおりである。

ア 施設の概要 (令和5年11月30日現在)

施設の名称	豊岡市立 但東シルク温泉 やまびこ	豊岡市立 但東スポーツ 公園	豊岡市立 但東中央 体育館	豊岡市立 但東健康増進 センター(※)
指定管理 期間	R4. 4. 1～ R9. 3. 31	R4. 4. 1～ R9. 3. 31	R4. 4. 1～ R9. 3. 31	H30. 4. 1～ R5. 3. 31
指定 管理料	なし	4,276千円/年	1,205千円/年	508千円 (令和4年度)
選定方法	非公募	公募	公募	公募
利用 料金制	採用	採用	採用	採用
施設の 概要	(ア)但東自然ふれあい センター「やまびこ」 (イ)但東シルク温泉館 (ウ)但東自然の郷	但東スポーツ公園	但東中央体育館	但東健康増進 センター

※豊岡市立但東健康増進センターの指定管理は、令和5年3月31日をもって終了している。

イ 施設の利用状況 (指定管理者管理運営状況シートより)

(単位：人)

区分	第17期(令和2年度)	第18期(令和3年度)	第19期(令和4年度)
但東自然ふれあい センター「やまびこ」	10,016	10,512	14,991
但東シルク温泉館	80,530	95,022	108,205
但東自然の郷	1,663	1,899	1,886
但東スポーツ公園	2,265	2,766	2,924
但東中央体育館	1,338	1,953	3,050
但東健康増進センター	8,225	9,239	9,945

ウ 管理に係る経費の収支状況（指定管理者管理運営状況シートより）（単位：千円）

区 分		但東シルク温泉やまびこ			但東スポーツ公園		
		第17期	第18期	第19期	第17期	第18期	第19期
収入	指定管理料				3,707	3,707	4,217
	利用料金	221,335	242,757	318,712	334	235	203
	その他収入	55,493	54,580	67,092	75	88	126
	雑収入（助成金等）	16,320	30,290	5,078			
	合 計（A）	293,148	327,627	390,882	4,116	4,030	4,546
支出	人件費	96,764	96,086	105,140	1,246	1,319	1,300
	事務費	32,713	29,791	34,675	108	140	162
	事業費	122,604	135,803	181,063			
	施設維持管理費	51,032	59,547	66,257	2,397	2,165	3,249
	その他支出						
	合 計（B）	303,113	321,227	387,135	3,751	3,624	4,711
差引（A）－（B）		△9,965	6,400	3,747	365	406	△165

区 分		但東中央体育館			但東健康増進センター		
		第17期	第18期	第19期	第17期	第18期	第19期
収入	指定管理料	1,197	1,197	1,197	451	451	508
	利用料金	72	95	137	477	571	660
	その他収入				56		
	雑収入（休業補償）				9	10	
	合 計（A）	1,269	1,292	1,334	993	1,032	1,168
支出	人件費	356	376	346	273	409	445
	事務費	6	9	41	35	30	36
	事業費						
	施設維持管理費	869	824	978	802	622	669
	その他支出						
	合 計（B）	1,231	1,209	1,365	1,110	1,061	1,150
差引（A）－（B）		38	83	△31	△117	△29	18

## 2 財務状況

会社の会計は、複式簿記会計によって処理されており、決算報告書も貸借対照表、損益計算書等としてまとめられ、監査役の監査を受けて、株主総会に報告されている。

第17期から第19期の3か年の財務状況は、以下のとおりである。

## (1) 損益計算書

(単位：千円、%)

区 分	第17期	第18期	第19期 (R4. 4. 1~R5. 3. 31)		
	決算額	決算額	決算額	前期比較	
				増減額	増減率
売上高 ①	271,910	297,127	385,159	88,032	29.6
宿泊売上高	161,196	173,993	242,540	68,547	39.4
売店売上	37,012	36,712	43,308	6,596	18.0
温泉売上	52,095	58,953	66,162	7,209	12.2
自然の郷売上	8,044	9,811	10,010	199	2.0
フィールド (アウトドア) 売上	5,080	8,795	12,921	4,126	46.9
業務委託売上	6,240	6,255	6,921	666	10.6
自販機売上	2,243	2,608	3,297	689	26.4
売上原価 ②	102,077	108,423	147,418	38,995	36.0
期首棚卸高	1,392	951	623	△ 328	△ 34.5
仕入高	97,118	104,041	141,902	37,861	36.4
材料仕入	572	—	—	—	—
飲料仕入	3,946	4,054	6,129	2,075	51.2
合計	103,028	109,046	148,654	39,608	36.3
期末棚卸高	951	623	1,236	613	98.4
売上総利益 ③=①-②	169,833	188,704	237,741	49,037	26.0
販売費及び一般管理費 ④	204,190	215,600	243,828	28,228	13.1
営業利益 ⑤=③-④	△ 34,357	△ 26,896	△ 6,087	20,809	77.4
営業外収益 ⑥	26,593	36,937	10,089	△ 26,848	△ 72.7
受取利息	3	2	1	△ 1	△ 50.0
雑収入	26,590	36,935	10,088	△ 26,847	△ 72.7
営業外費用 ⑦	104	122	107	△ 15	△ 12.3
支払利息・割引料	104	122	107	△ 15	△ 12.3
経常利益 ⑧=⑤+⑥-⑦	△ 7,868	9,919	3,895	△ 6,024	△ 60.7
特別利益 ⑨	1,000	—	2,709	2,709	皆増
固定資産売却益	1,000	—	—	—	—
国庫補助金収入	—	—	2,709	2,709	皆増
特別損失 ⑩	—	—	2,774	2,774	皆増
固定資産売却除却損	—	—	65	65	皆増
固定資産圧縮損	—	—	2,709	2,709	皆増
税引前当期純利益 ⑪=⑧+⑨-⑩	△ 6,868	9,919	3,830	△ 6,089	△ 61.4
法人税等充当額 ⑫	212	212	212	0	0.0
当期純利益 ⑪-⑫	△ 7,080	9,707	3,618	△ 6,089	△ 62.7

第19期 (R4. 4. 1~R5. 3. 31) の経営成績は、売上高385,159千円 (対前期比88,032千円、29.6%増)、営業利益△6,087千円 (対前期比20,809千円、77.4%増)、経常利益3,895千円 (対前期比△6,024千円、60.7%減)、当期純利益3,618千円となっており、第18期と比較すると△6,089千円、62.7%減となっている。

## (2) 貸借対照表

(単位：千円、%)

区 分	第17期	第18期	第19期 (R4. 4. 1~R5. 3. 31)			
	決算額	決算額	決算額	前期比較		
				増減額	増減率	
資 産 の 部	流動資産	110,453	123,579	126,806	3,227	2.6
	現金及び預金	102,402	112,288	107,186	△ 5,102	△ 4.5
	売掛金	3,075	7,189	13,160	5,971	83.1
	商品	951	623	1,236	613	98.4
	貯蔵品	1,602	1,552	1,420	△ 132	△ 8.5
	未収入金	2,360	1,864	3,741	1,877	100.7
	前払費用	63	63	63	0	0.0
	固定資産	6,070	9,679	14,406	4,727	48.8
	(有形固定資産)	(5,284)	(8,893)	(13,011)	(4,118)	(46.3)
	建物	640	460	281	△ 179	△ 38.9
	建物附属設備	1,509	1,189	1,058	△ 131	△ 11.0
	構築物	2,791	3,262	7,644	4,382	134.3
	車両運搬具	0	0	0	0	0.0
	工具器具備品	344	3,914	2,507	△ 1,407	△ 35.9
	一括償却資産	—	68	1,521	1,453	2,136.8
	(無形固定資産)	(126)	(126)	(735)	(609)	(483.3)
	敷金	126	126	126	0	0.0
	ソフトウェア	—	—	609	609	皆増
	(出資その他資産)	(660)	(660)	(660)	(0)	0.0
	出資金	660	660	660	0	0.0
資産の部 合計	116,523	133,258	141,212	7,954	6.0	
負 債 の 部	流動負債	8,247	18,311	25,682	7,371	40.3
	買掛金	3,106	6,153	11,189	5,036	81.8
	未払金	3,705	8,491	8,283	△ 208	△ 2.4
	前受金	2	—	—	0	0.0
	預り金	1,223	1,479	2,164	685	46.3
	法人税等充当額	211	212	211	△ 1	△ 0.5
	未払消費税	—	1,976	3,835	1,859	94.1
	固定負債	27,830	24,794	21,758	△ 3,036	△ 12.2
	長期借入金	27,830	24,794	21,758	△ 3,036	△ 12.2
	負債の部 合計	36,077	43,105	47,440	4,335	10.1
純 資 産 の 部	株主資本	80,446	90,153	93,772	3,619	4.0
	(資本金)	(50,000)	(50,000)	(50,000)	(0)	(0.0)
	(利益剰余金)	(30,446)	(40,153)	(43,772)	(3,619)	(△ 9.0)
	利益準備金	12,500	12,500	12,500	0	0.0
	別途積立金	20,000	17,000	25,000	8,000	47.1
	繰越利益剰余金	△ 2,054	10,653	6,272	△ 4,381	41.1
純資産の部 合計	80,446	90,153	93,772	3,619	4.0	
負債・純資産の部 合計	116,523	133,258	141,212	7,954	6.0	

※ 第19期末 固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 22,488,242円

※ 第18期末 固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 21,381,995円

※ 第17期末 固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 19,730,167円

〔資産の部〕

第19期末（R5.3.31）について見ると、資産の合計は141,212千円で、前期に比べ7,954千円（6.0%）増加している。これは主に、固定資産の構築物が4,382千円（134.3%）増加、流動資産の売掛金が5,971千円（83.1%）増加したことによるものである。

〔負債の部〕

負債の合計は47,441千円で、前期に比べ4,336千円（10.1%）増加している。これは主に、流動負債の買掛金が5,036千円（81.8%）増加したことによるものである。

〔純資産の部〕

純資産の合計は93,771千円で、前期に比べ3,618千円（4.0%）増加している。これは、別途積立金が8,000千円（47.1%）増加したことによるものである。

### 3 営業成績及び財産状況

(1) 売上状況の推移

(単位：千円)

区 分	第17期(令和2年度)	第18期(令和3年度)	第19期(令和4年度)
宿 泊	161,196	173,993	242,540
売 店	37,012	36,712	43,308
温 泉	52,095	58,953	66,162
自然の郷	8,044	9,811	10,010
アウトドア	5,080	8,795	12,921
業務委託	6,240	6,255	6,921
自販機	2,243	2,608	3,297
合 計	271,910	297,127	385,159

(2) 営業成績及び財産状況等推移

(単位：千円)

区 分	第17期(令和2年度)	第18期(令和3年度)	第19期(令和4年度)
営 業 利 益	△34,357	△26,896	△6,087
経 常 利 益	△7,868	9,919	3,895
当期純利益	△7,080	9,707	3,618
総 資 産	116,523	133,258	141,212
純 資 産	80,446	90,153	93,772

(単位：千円)

区 分	第17期(令和2年度)	第18期(令和3年度)	第19期(令和4年度)	
株主 資本	資本金(期末)	50,000	50,000	50,000
	利益剰余金	30,446	40,153	43,772
	株主資本合計	80,446	90,153	93,772

### 4 主な取組状況

- (1) いつも笑顔でお客様に喜んでいただける接客により、お客様の満足度を向上させるため、年3回、商工会から講師を招聘し、接客に関与する社員全員を対象に接遇研修を行い、社員の接遇能力向上を図っている。

- (2) ジェンダーギャップの解消及び女性目線での経営施策の強化を図るため、第20期より取締役を1名増員し、女性社員の中から1名を取締役に抜擢している。
- (3) 女性宿泊客をターゲットにした施策として、全客室で既存のドライヤーの高級ドライヤーへの入替及び化粧用のデスクミラーの配置、脱衣場にオールインワンジェルの配置、一般入浴終了後の21時から23時の間に女性宿泊客限定で様々なシャンプーが試せるシャンプーバイキングの開催、小物持ち運び用のPPバンドのカゴの配置等を実施しており、好評を得ている。
- (4) お客様の満足度向上のため、主に宿泊客の夕食及び朝食で使用する大ホールの改修、和室の畳張替え、クローゼットのリニューアル、101号室のリニューアル、1階客室からサブエントランスまでの床の張替え、クロスの張替え等を行っている。
- (5) 売店では、地元の特産品であるシルクコーン、シルク茄子、どぶろく等の販売を行っており、地元食材のPR及び販売促進に貢献している。また、シルク温泉オリジナル商品として、シルクスパソープ、シルク茄子カレー、せいきそばの販売を行っており、シルク温泉及び但東地域のPRに貢献している。

## 5 監査の総括及び所見

第19期（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の営業活動にかかる財務関係書類を抜粋して照会したところ、計数的な誤りはなく、出納その他の事務については、おおむね適正に処理されていると認められた。今後も適正な事務処理に努められたい。

### (1) 総括

現在のやまびこは、昭和58年5月、宿泊研修施設やまびこを中心とした自然レクリエーションゾーンの整備を主要事業とする但東町シルクロード計画が策定されたことを受け、昭和60年7月、但東自然ふれあいセンターやまびこがオープンしたことを前身としている。続いて、平成5年6月に施設『やまびこ』の近くで掘削を行い、温泉（第1泉源）が湧出し、その活用策として翌年7月に但東シルク温泉館を建設、オープンした。

更に平成7年4月には、やまびこ別館（宿泊を主とした交流促進センター）をオープン、同年7月ログハウス4棟の「自然の郷」をオープンした。

その後、平成14年3月、更に豊富な湯量がある第2泉源が湧出、施設を整備拡充し、平成17年1月24日に第三セクターとして「株式会社シルク温泉やまびこ」（払込資本金5,000万円）を新たに設立し、現在に至っている。

泉源の温度は、第1泉源が30.9度（平成21年調査）、第2泉源が35.3度（平成23年調査）と低いため、湧出する温泉水について灯油を燃料としたボイラーで温度を高めて浴槽に入れている。

経営面において、売上高は第18期及び第19期で2期連続して増加しているが、収益については、経費節減に努めたものの、世界的な物価上昇や燃料費高騰の影響が大きく、第17期から第19期はいずれも営業利益が赤字となり、厳しい状況となっている。引き続き、経費節減に努め、社員一丸となって、収益の改善に向けた取組に尽力されたい。

(2) 監査結果の指導事項等は次のとおりである。

出資団体関係

**〔指導事項〕**

- ア 就業規則及び諸規程について、誤字、脱字、条文に記載された規程の存在が不明なもの及び条文の内容と実態が一致していないものが見受けられたため、確認の上、適正な改正を行われたい。
- イ 取締役が出席する会議において、議事録を作成せず、会議の音声データのみを保存している事案が確認された。会社法に抵触する恐れがあるため、書面等による議事録作成を徹底されたい。

**〔注意事項〕**

レストランの食品衛生法に基づく営業許可証が外部から見えない場所に掲示されていたため、掲示場所を外部から見える場所に変更されたい。

**〔要望事項〕**

代表取締役、支配人の経営意識が高く、職員もモチベーションが高い。ホテルシルク温泉やまびこの基本方針「ほっこりとしたふれあい」を念頭に置かれ、いつも笑顔でお客様に喜んでいただける接客を心掛けながら、客単価を増やす工夫をはじめ、地元地域の方々との連携を図りながら、地域全体を盛り上げるよう、引き続き様々な取組みを進めていただくことを要望する。

所管課関係

**〔要望事項〕**

- ア 所管課としてやまびこの毎月の収支、決算の状況等を精査し、今後もやまびこと連絡調整を行い、経営成績及び財政状況を十分把握し、経営に対する監督及び適切な指導を行われたい。  
また、指定管理業務への日常的な監督及びモニタリングを行い、引き続きサービスの質の担保に努められたい。
- イ 但東シルク温泉やまびこの施設が整備されてから相当な期間が経過しており、修繕等の必要な箇所が増加している状況である。施設・設備等の修繕については、やまびこと十分に協議を行い、利用客の安心・安全を最優先に考え、優先順位を精査した上で実施されたい。